

特集

赤ちゃんが 学校にやっ てきた

園人口創出課 TEL 23・7278



園部中学校3年生を対象に「赤ちゃんふれあい体験授業」が開催されました。この授業は地域の赤ちゃん連れ親子と学校の子どもたちの交流プログラムです。今回本市では、人口減少対策の一つとして命の重みや温かさを学び、子育てという営みの貴重さを世代間の交流を通じて好意的に感じてもらうことを目的としたモデル事業として実施しました。授業は2部構成となっており、赤ちゃんとのふれあい体験授業を終えた生徒たちは、思春期保健相談士の中井聖さんによるライフデザイン講座を聴講しました。

NPO法人ままとーん

県南地区の子育て中の親たちが中心となって、情報誌や親子向けイベントなどを行っている団体です。赤ちゃんふれあい体験授業（赤ちゃん学校）の取り組みを始めたのは2012年、以来数多くの学校で実施してきました。赤ちゃん

学校の実施のほかにも、子育て中のお父さん・お母さんの助けになるよう

なイベントや情報発信を行っています。子育て世帯必見の情報が盛りだくさんです。詳しくは二次元コードを読み込み、公式ホームページからご確認ください▼





授業当日は、市内で子育て中の4組の赤ちゃんとお母さんにご参加いただき、ゲスト親子としてご協力いただきました。お母さんは生徒たちへ自身が子育てを行う中で、うれしかったことや大変だったこと、子どもを育てる楽しみについてお話くださいました。



お母さんたちはお子さんとの思い出の品をそれぞれ持ち寄り、生徒たちへ披露してくれました。お子さんが誕生するまでのエコー写真や記録をまとめたノートを見せていただいた生徒たちは興味津々！赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいる時や生まれてからのエピソードを聞くことにより、命の誕生についてより深く考える時間となりました。



赤ちゃんを実際に抱っこしてみた生徒たち。時折泣いてしまう赤ちゃんに戸惑いつつも、優しく丁寧に赤ちゃんにふれあいました。

ご参加いただいたお母さんたちからは、「短い時間ではありましたが、この授業から赤ちゃんを育てる生活を身近に感じていただけたらいいなと思いました。生徒の皆さんの将来の選択に少しでも貢献できればうれしいです」との感想を聞くことができました。

